

希学園 第409回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第409回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年6月14日実施)	https://vimeo.com/1201110685/71b63e2ec4

1 (1) 2 4 3 9 (2) 2 5 7 (3) 7 0 5 (4) 5 2 8 3

(5) 2 3 1 0 4 (6) 8 8 1 6 (7) 8 . 4 (8) 7 0

(9) $\frac{59}{73}$ (10) ㊦ 7 (L) ㊧ 5 9 0 (mL) (11) 1 3 0 0 0 (g)

(12) ㊦ 3 (時間) ㊧ 4 8 (分) (13) 4 5 ((10)(12)各完答)

2 (1) 5 個 (2) 4 (3) 5 個

3 (1) 3 6 cm (2) 5 2 cm (3) 8 枚

4 (1) 6 0 枚 (2) 3 6 枚 (3) 1 2 枚

5 (1) 6 通り (2) 4 通り (3) 1 0 通り

(配点) 各4点×25

1

- (6) $\square + 92 - 7489 = 1419$
 $\square = 1419 + 7489 - 92 = \underline{8816}$
- (7) $10 - \square + 1.7 = 3.3$
 $10 - \square = 3.3 - 1.7 = 1.6$
 $\square = 10 - 1.6 = \underline{8.4}$
- (8) $\square \times 800 = 56000$
 $\square = 56000 \div 800 = \underline{70}$
- (10) $69\text{dL} + 690\text{mL} = 6\text{L}900\text{mL} + 690\text{mL} = \underline{7\text{L}590\text{mL}}$
- (11) $2\text{t} - \square\text{g} = 1987\text{kg}$ $2\text{t} = 2000\text{kg}$
 $2000\text{kg} - 1987\text{kg} = 13\text{kg} = \underline{13000\text{g}}$
- (12) 午後2時11分は、24時制で表すと14時11分。
 $14\text{時}11\text{分} - 10\text{時}23\text{分} = \underline{3\text{時間}48\text{分}}$
- (13) 9でわりきれぬ2けたの整数をすべて調べる。
 18, 27, 36, 45, 54, 63, 72, 81, 90, 99
 7でわったあまりは左から順番に、
 4, 6, 1, 3, 5, 0, 2, 4, 6, 1
 よって答えは45。

2

- (1) 【A】=1とは、整数Aが九九表の中に一度だけ出てくるといふこと。九九表は、右の図にしめしたように左上から右下のななめの線に対してかがみうつしせいしつのようになる性質がある。(このような性質を対称性とよぶ。) よって、太点線より右上に出てくる数は、左下にも出てくる。つまり2個ずつペアで登場する。ペアにならない数はちょうど太点線上にある数。1, 4, 9, 16, 25, 36, 49, 64, 81のなかで、他の九九でも出てこないものは1, 25, 49, 64, 81の5個。
- | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| × | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 2 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 14 | 16 | 18 |
| 3 | 3 | 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | 24 | 27 |
| 4 | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 | 24 | 28 | 32 | 36 |
| 5 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45 |
| 6 | 6 | 12 | 18 | 24 | 30 | 36 | 42 | 48 | 54 |
| 7 | 7 | 14 | 21 | 28 | 35 | 42 | 49 | 56 | 63 |
| 8 | 8 | 16 | 24 | 32 | 40 | 48 | 56 | 64 | 72 |
| 9 | 9 | 18 | 27 | 36 | 45 | 54 | 63 | 72 | 81 |
- (2) 九九表に最も多く出てくるのは、上の九九表で色をつけた数で、その回数は4回。よって【A】の最大は4。
- (3) 【A】=4となる数は6, 8, 12, 18, 24の5個。

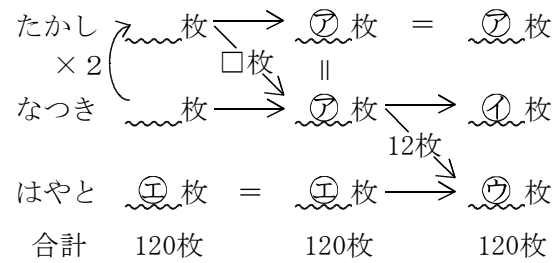
3

- (1) 正方形の紙1枚のまわりの長さは、 $5 \times 4 = 20\text{(cm)}$
 重なりの部分で、 $1 \times 4 = 4\text{(cm)}$ 短くなる。
 $20 \times 2 - 4 = \underline{36\text{(cm)}}$
- (2) (1)と同様に考えて、 $20 \times 3 - 4 \times 2 = \underline{52\text{(cm)}}$
- (3) (1), (2)から考えて、紙を1枚重ねるごとにまわりの長さは16cmずつ長くなる。このきまりを表にまとめると下のようになり、まわりの長さが132cmのときの枚数は8枚。

枚数(枚)	2	3	4	5	6	7	8
まわり(cm)	36	52	68	84	100	116	132

4

カードのやりとりのようすをフローチャートとよばれる図を使って表すとわかりやすい。



- (1) ①+②=③, ①+②+③=120より,
 ③=120÷2=60(枚)
- (2) ①=60-12=48(枚)
 ②=(120-48)÷2=36(枚)

- (3) はじめのやりとりで、たかしくんとなつきさんのカードの枚数の合計は、
 $120 - 48 = 72\text{(枚)}$ で一定。右の線分図より、
 ③=72 ①=72÷3=24(枚)
 ②=24×2=48(枚)
 たかしくんがなつきさんにわたしたカードの枚数は、
 $48 - 36 = \underline{12(枚)}$
-

5

- (1) ○を書き入れないマスに×と表すと、図の5マスに○を2つ書き入れる方法は、○×○××, ○××○×, ○×××○, ×○×○×, ×○××○, ××○×○の6通り。
- (2) 右の図のAのマスに○を書き入れるとき、残り2つの○を左4マスに書き入れればよい。この方法は問題文にあるように3通り。
 Aのマスに○を書き入れないときは、○×○×○の1通り。
 よって、 $3 + 1 = \underline{4(通り)}$
- (3) 右の図のAのマスに○を書き入れるとき、残り2つの○を5マスに書き入れればよい。この方法は(1)で求めた6通り。
 Aのマスに○を書き入れないときは、3つの○をA以外の6マスに書き入れることになる。この方法は(2)で求めた4通り。
 よって、 $6 + 4 = \underline{10(通り)}$

配点：各4点×25
 ①(10)(12) 各完答